

2022年4月26日
株式会社大和証券グループ本社
朝日生命保険相互会社

アフリカ開発銀行が発行する「ソーシャルボンド」への投資並びに引き受けについて

株式会社大和証券グループ本社（代表執行役社長：中田 誠司）傘下の大和証券キャピタル・マーケットツヨーロッパリミテッドは、アフリカ開発銀行（以下「AfDB」）が発行する「ソーシャルボンド」（以下「本債券」）の単独引き受け主幹事を務めましたので、その概要をお知らせします。本債券は、AfDB が初めて本邦の機関投資家に向けて発行するソーシャルボンドとなります。

なお、発行総額 155 百万豪ドルのうち、55 百万豪ドル（約 51 億円）を朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「朝日生命」）にご購入頂きました。

<本債券発行の背景>

AfDB は 1964 年に設立された、アフリカにおける持続可能な経済開発と社会発展の促進を使命とする国際開発銀行で、現行の 10 年長期戦略において、アフリカの成長の質を高めるためにインクルーシブな成長とグリーン成長への移行の 2 つの目標に重点を置いて取り組んでいます。一方で、新型コロナウイルス感染症の長引く影響により、アフリカにおける貧困削減への取り組みの成果に遅延が生じると見込まれています。加えて、アフリカは小麦やトウモロコシ等の食料輸入をウクライナ・ロシア両国に依存しているため、足元の政情不安が食料事情の悪化を招き、エネルギー価格の上昇とも相まって、もともと脆弱な立場に置かれている人々がいっそう困難な状況となっています。

AfDB が本債券で調達した資金は、貧困の削減やインクルーシブな成長につながる適格プロジェクトに充当され、食料不安の解決をはじめ、基礎的インフラ（電力、水と衛生、交通）、基本的サービス（医療、教育、職業訓練）、金融サービスへのアクセス改善や雇用創出など、社会経済的発展とエンパワーメントをもたらすことが期待されます。

<本債券の概要>

| | | | | | | |
|---------------------|---|---|--|---|--|--|
| 発行体名称 | アフリカ開発銀行（AFDB） | | | | | |
| 発行総額 | 155 百万豪ドル | | | | | |
| 償還期間 | 10.5 年 | | | | | |
| 引き受け | 大和証券キャピタル・マーケットツヨーロッパリミテッド | | | | | |
| 対応する持続可能な開発目標（SDGs） | <p>1 貧困をなくそう</p>  | <p>2 気候をゼロに</p>  | <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  | <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  | <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  | <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  |
| | <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  | <p>8 働きがいも経済成長も</p>  | <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  | <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  | <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  | |

朝日生命は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、今後も ESG 投融資を一層推進してまいります。

<備考>

【AfDB のソーシャル関連プロジェクト】

■ チュニジア：農業サブセクター開発・促進プロジェクト

開発に多額の官民投資が必要な農業サブセクター（オリーブオイル、トマト、牛乳、地域のその他の有機製品）の付加価値を高めることを目指し、生産と生産性の向上、製品開発（加工、包装、認証など）の機会増大、および失業、貧困、不平等の削減を目指すプロジェクトです。



■ 赤道ギニア：漁業・養殖セクターのバリューチェーン構築支援プロジェクト

このプロジェクトの目的は、養殖、零細漁業、産業漁業の持続可能な発展を通じて魚類生産を増加させるとともに、飲料水・衛生インフラを強化することにあります。赤道ギニアは国内に大きな漁獲能力があるとみられるにも関わらず、国民が消費するための食料の多くを輸入に頼っています。このプロジェクトの実施によって、国内市場への魚の供給が改善され、周辺地域諸国への輸出が拡大し、漁師の収入増加や若者の雇用改善が期待されます。またプロジェクト対象地域の 34 の村に 50 の掘削井戸と 150 のトイレが提供されることで、飲料水と衛生設備へのアクセスが改善されます。さらに、漁業バリューチェーンや水産養殖地の開発により人々の食料安全保障や生活環境の改善、ひいては同国及び周辺国の水産資源や河川・海洋生態系のより持続可能な管理に貢献します。



■コートジボワール：政府による社会プログラムへの支援プロジェクト

このプロジェクトの主な目的は、2018年に採択されたコートジボワール政府による社会プログラムの成果・インパクトの達成に向けた取り組みを支援することです。このプログラムの下で、政府は基本的社会サービスへのアクセスを容易にし、家計の支出を減らすことで、生計を改善することを目指しています。このプロジェクトは、基本的サービス、特に医療、飲料水、社会サービスへの農村コミュニティのアクセスを改善することで、社会経済改革を加速させます。また、農業生産や加工を支援し、若者の労働市場へのアクセスを容易にすることで、農村住民や若者の生活環境を改善します。



【大和証券グループについて】

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄から SDGs へ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じた SDGs の実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGs や ESG に資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上およびサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

(ご参考) 大和証券グループの SDGs に関する取組み：

https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad_eir_sdgspress

以上